

杜陵

だより

第5-1号

発行：岩手県立杜陵学園

(児童自立支援施設)

〒020-0124

岩手県盛岡市

厨川2丁目3番1号

電話：019-641-3365

巻頭言

岩手県立杜陵学園長 蛭田嘉男

東北・北海道地区の児童自立支援施設野球大会や北奥羽三県のバトミントン大会などのスポーツは、学園に来て初めて取り組む児童がほとんどで、短い練習期間では基本的なルールを覚えるだけで精一杯な状態でした。特に今年は猛暑の日が続き、練習はもとより、よりプレッシャーのかかる本番では最後まで続けられるだろうかと心配しました。結果は目標には届かなかつたものの、練習とはまるで違う真剣なまなざしや集中力、頑張りには児童一人一人の成長を改めて実感しました。

振り返ってみると、児童は準備や練習の際には消極的、拒否的な姿に見えても、内面では葛藤を抱きながら悪戦苦闘しています。職員はそれを理解し、励まし、直前まで調整し、試合を迎えるまでには児童の気持ち切り替わっているようでした。

今般、コミュニケーションや対人関係に課題のある児童が増え、集団での活動が難しくなっています。ただ、試合を経験することで得られる成長は代えがたいものがあります。それが児童だ

けでなく職員の指導の原動力や成長にもつながっているのだと感じた今年度前半でした。

作業活動

四月に土作り、五月上旬からは作物の苗を畑に植え、十月末までに収穫を終える。このようなサイクルで約七か月の間、入所児童及び学園職員が一丸となって農作業を行いました。収穫までに敷地内に行ってくる動物の餌になることもありましたが、ジャガイモ三種類、里芋、ピーマン、ナス、トマト等の数多くの農作物の収穫をすることができました。そして、その収穫物で調理体験や収穫祭を行い、児童、職員共に楽しく舌鼓を打つことができました。

このように児童、職員共に作業における苦楽を共有した農繁期でしたが、これからは農閑期となり、除雪作業や氷割りといった生活環境の整備が多くなります。引続きとなりますが、児童及び職員が作業を通じて何かしらの「収穫」が得られるよう日課運営をしていきたいと思えます。(只野)

収穫のようす

学習発表会

今年度の学習発表会は十月十四日に行われました。この学習発表会に向けて、入所間もない児童を含め、全員が一丸となり練習に取り組んできました。

学習発表会は、展示の部とステージ発表の部の二部門で構成されています。展示の部では、各教室に作品やノートを展示することで授業の取り組みの成果を御披露しました。廊下には、各行事や学期の節目にまとめた作文を展示しました。ステージ発表の部では詩の朗読や暗唱、ピアノ個人発表、さんさ太鼓、学園生活を紹介するスライド発表、児童と職員による合唱と盛りだくさんな内容でした。

学園に入所している児童は、入所前は、どうしても授業や行事に真剣に取り組む経験が乏しかった場合が少なくありません。そんな児童たちが緊張の中、最後までひたむきに一生懸命取り組む姿は、お越しいただいた保護者の方や前籍校の先生方の想像を超えることもあるようです。皆さんから「感動しました」という声をいただくことができました。この学習発表会が、児童のそういった新たな一面を発見する機会となったのであれば幸いです。(熊上)

スポーツ活動

第七十四回全日本少年野球東北・北海道地区福島大会が、六月二十九日、三十日に行われました。

今年度は、「野球部三原則①仲間を責めない②諦めない③圧をかける(声やプレーで)」をスローガンとして掲げ、人数が少ない中でもお互いを励まし合って頑張れるようなチーム像を目標に取り組みました。昨年度、野球部を経験した児童が主将、副主将となり、チームを引っ張ってくれました。練習にならない日もありましたが、職員との振り返りを繰り返しながら、大会まで取り組むことができました。

地域で野球を経験した児童がいなかったため、基礎練習を重点的に実施しました。キャッチボールやノック、ティーバッティング等、単調な練習が続いた日もあったと思います。それでも、飽きたり、疲れたりせずに頑張りました。

大会は二日間の日程で開催されました。福島県までバスで五時間かかり、前泊もしたため、かなり疲れていたと思います。それでも、開会式での児童の話を聞く態度は立派でした。試合は、第一試合で福島学園と対戦し、0対7で敗れ、三位決定戦でさわらび学園(宮城)と対戦し7対10で惜しくも敗れました。昨年度も両施設に敗れているため、今年こそはと、意気込んでいましたが、悔しい結果となってしまいました。今年度も途中で投げ出す児童は一人もいませんでした。ミスをし

ても、試合の中で立ち直り、最後まで戦い抜くことができました。日々の練習や取組の成果だと思います。

今回の大会も仲間と練習に取り組み、大会に参加し、緊張感や楽しさを一緒に味わうことができ、良い経験であり、成長の糧になったと思います。これからも児童のさらなる成長のためにスポーツ指導を継続して参りますので、今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。(岩脇)

野球大会の様子(左上、右下)

学習発表会でのさんさ太鼓の様子(右上)

児童入所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	延計
月初人数	9	10	9	10	11	9	9	
月中入所	1	0	1	1	3	0	1	7
月中退所	0	1	0	0	5	0	0	6

皆様からの御意見・御感想はインターネットで受け付けております。

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=423&ik=3&pnp=17&pnp=61&pnp=423>

行事予定(11月~3月)

- 12月: 2学期終業式、クリスマス会、冬季一時帰省
- 1月 3学期始業式
- 2月 スキー教室
- 3月 修了式・卒業式、退園式

編集後記

今年度から編集担当をさせていただきましたことになりました。休石です。読んでいただいている面白くも思ってもらえる内容にしたいと考えています。今後も、まだまだ多くの行事を控えていますので、子どもたちの充実した日々をお伝えできればと思います。今後とも御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。

(休石)